

2015/3期決算説明会

クオール

あなたの、いちばん近くにある安心

The First Section of the Tokyo Stock Exchange 3034



クオール株式会社



- 2015/3期 決算概要
- 2016/3期 業績予想
- クオールの成長戦略
- 総括

■ 2015/3期 決算概要

■ 2016/3期 業績予想

■ クオールの成長戦略

■ 総括

2015/3 決算ハイライト・・・増収増益 最高益更新



(単位:百万円)	2013/3	2014/3	2015/3	増減	増減率	2015/3 計画	達成率
売上高	76,783	100,966	114,363	13,397	13.3%	112,800	101.4%
営業利益	2,812	2,105	4,243	2,138	101.6%	3,700	114.7%
経常利益	2,829	2,208	4,262	2,053	93.0%	3,700	115.2%
当期純利益	1,349	777	2,155	1,378	177.4%	1,700	126.8%
EPS(円)	52.76	25.11	63.33	38.22	152.2%	50.54	125.3%
BPS(円)	511.39	521.60	557.42	35.82	6.9%	-	-
時価総額	23,665	21,712	36,275	14,563	67.1%	-	-
出店数	438	520	538	18	3.5%	561	95.9%
(LAWSON)	(30)	(37)	(37)	0	-	(47)	78.7%

(単位:百万円)		1Q	2Q	3Q	4Q	Total
売上高	2015/3	27,282	28,339	29,577	29,164	114,363
	2014/3	24,311	24,710	26,166	25,778	100,966
営業利益	2015/3	579	972	1,491	1,200	4,243
	2014/3	645	371	888	199	2,105
経常利益	2015/3	590	980	1,480	1,210	4,262
	2014/3	652	415	906	233	2,208
純利益	2015/3	227	451	877	599	2,155
	2014/3	177	183	545	-129	777

- ROE: 11.9% (5.2%)
- ROA: 7.5% (4.7%)
- ROIC: 7.2% (3.9%)
- 設備投資: 1,752百万円 (2,177百万円)
- 減価償却費: 1,611百万円 (1,574百万円)
- のれん償却費: 1,497百万円 (1,172百万円)
- 出店数32店舗 [新規16+M&A16]
- 閉店14店舗 [売店9店舗、LAWSON3店舗、クオール薬局2店舗]

()は前期実績

損益計算書およびセグメント情報



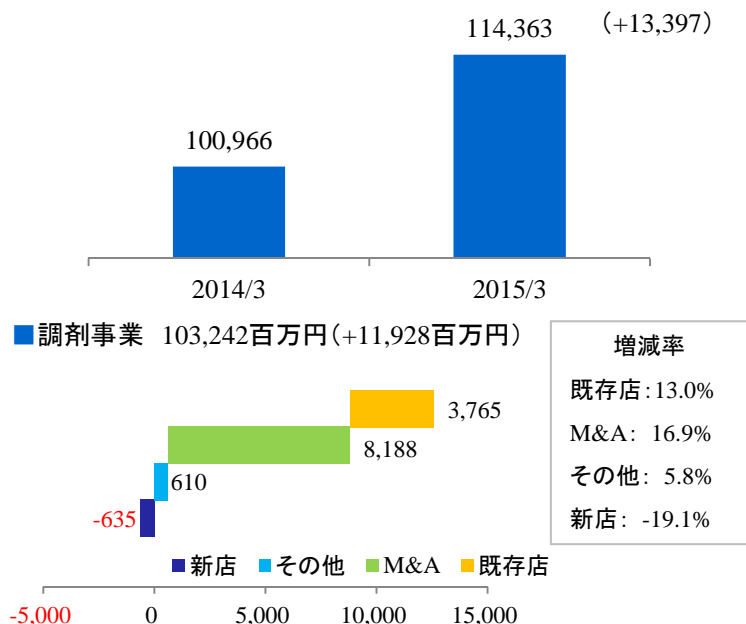
(単位:百万円)				(単位:百万円)				
	2014/3	2015/3	増減		2014/3	2015/3	増減	増減率
売上高	100,966	114,363	13,397	調剤事業売上高	91,314	103,242	11,928	13.1%
原価	90,069	100,374	10,305	薬剤料	61,796	70,590	8,794	14.2%
原価率	89.2%	87.8%	-1.4%	技術料	19,047	21,570	2,523	13.2%
(人件費)	15,012	16,303	1,291	その他	10,490	11,100	610	5.8%
総利益	10,897	13,989	3,091	原価	83,610	93,440	9,830	11.8%
総利益率	10.8%	12.2%	1.4%	原価率	91.6%	90.5%	-1.1%	-
販管費	8,791	9,745	953	総利益	7,703	9,801	2,098	27.2%
販管费率	8.7%	8.5%	-0.2%	総利益率	8.4%	9.5%	1.1%	-
(人件費)	3,999	4,726	727	営業利益	3,037	4,420	1,382	45.5%
(その他)	4,792	5,019	227	利益率	3.3%	4.3%	1.0%	-
営業利益	2,105	4,243	2,138	関連事業売上高	9,652	11,121	1,468	15.2%
利益率	2.1%	3.7%	1.6%	原価	6,458	6,933	475	7.4%
経常利益	2,208	4,262	2,053	原価率	66.9%	62.3%	-4.6%	-
利益率	2.2%	3.7%	1.5%	総利益	3,193	4,187	994	31.1%
当期純利益	777	2,155	1,378	総利益率	33.1%	37.7%	4.6%	-
利益率	0.8%	1.9%	1.1%	営業利益	82	772	689	836.8%
総人件費	19,011	21,030	2,019	利益率	0.9%	6.9%	6.0%	-
人件费率	18.8%	18.4%	-0.4%					

2015/3期 増収増益要因



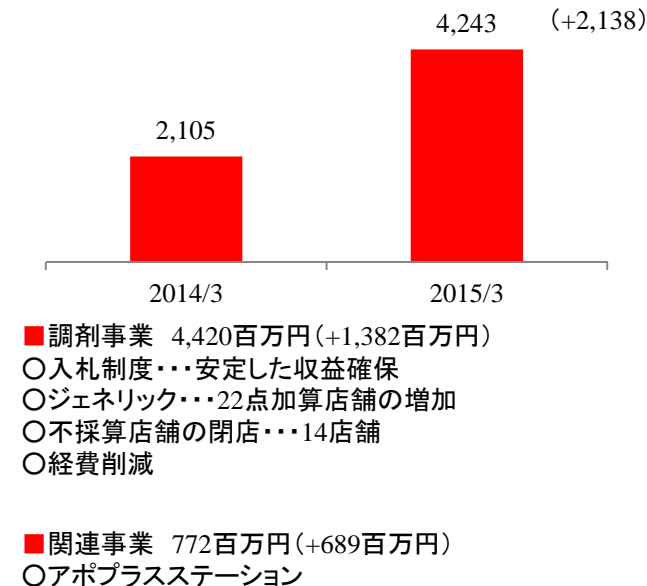
(単位:百万円)

売上高

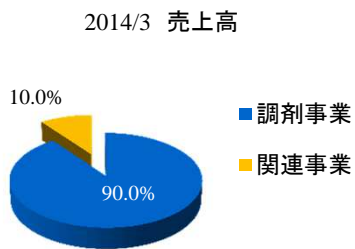


(単位:百万円)

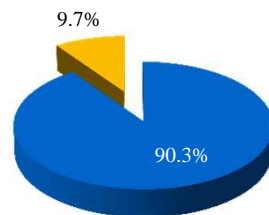
営業利益



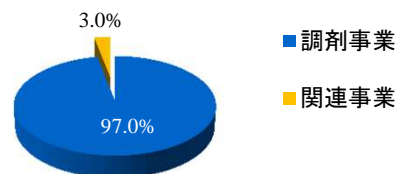
■ 関連事業 11,121百万円(+1,468百万円)
○アポプラスステーション



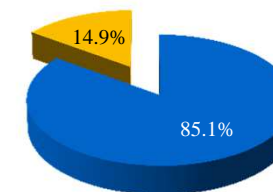
2015/3 売上高



2014/3 営業利益



2015/3 営業利益



貸借対照表



(単位:百万円)	2014/3	2015/3
現金及び預金	5,162	8,236
受取手形及び売掛金	10,940	12,079
たな卸資産	6,150	4,307
流動資産合計	24,117	26,534
のれん	16,317	19,477
固定資産合計	29,767	33,023
資産合計	53,904	59,573
借入金	5,733	5,394
流動負債合計	25,450	26,312
長期借入金	8,360	11,462
固定負債合計	11,078	14,108
負債合計	36,529	40,420
資本金	2,828	2,828
資本剰余金	9,085	10,880
利益剰余金	5,371	6,938
自己株式	-298	-1,588
株主資本合計	16,987	19,059
純資産合計	17,374	19,152
負債純資産合計	53,904	59,573

■ 資産合計 +5,668百万円

■ 流動資産 +2,416百万円

現金及び預金 +3,074百万円

受取手形及び売掛金 +1,139百万円

たな卸資産のうち商品及び製品 -1,828百万円

■ 固定資産 +3,255百万円

のれん増加 +3,159百万円(M&A:16店舗)

■ 負債合計 +3,890百万円

■ 有利子負債 +2,413百万円(16,161百万円→18,574百万円)

ネットD/Eレシオ:0.54倍(2014/3期:0.65倍)

(有利子負債-現預金)/自己資本

■ 純資産 +1,777百万円

■ 資本剰余金 +1,794百万円

■ 利益剰余金 +1,567百万円

■ 自己株式 -1,290百万円

■ 自己資本 19,152百万円

■ 自己資本比率:32.1%(2014/3期:31.6%)

CF計算書



(単位:百万円)	2014/3	2015/3
営業活動によるCF	2,350	7,841
投資活動によるCF	△8,383	△5,066
財務活動によるCF	5,722	278
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△310	3,053
現金及び現金同等物の期首残高	5,268	4,957
現金及び現金同等物の期末残高	4,957	8,011

Point

■ 営業活動によるCF

税金等調整前当期純利益:3,882百万円

減価償却費:1,611百万円

たな卸資産の減少:2,058百万円

■ 投資活動によるCF

連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出:3,186百万円

有形固定資産の取得による支出:1,486百万円

■ 財務活動によるCF

長期借入れによる収入:10,392百万円

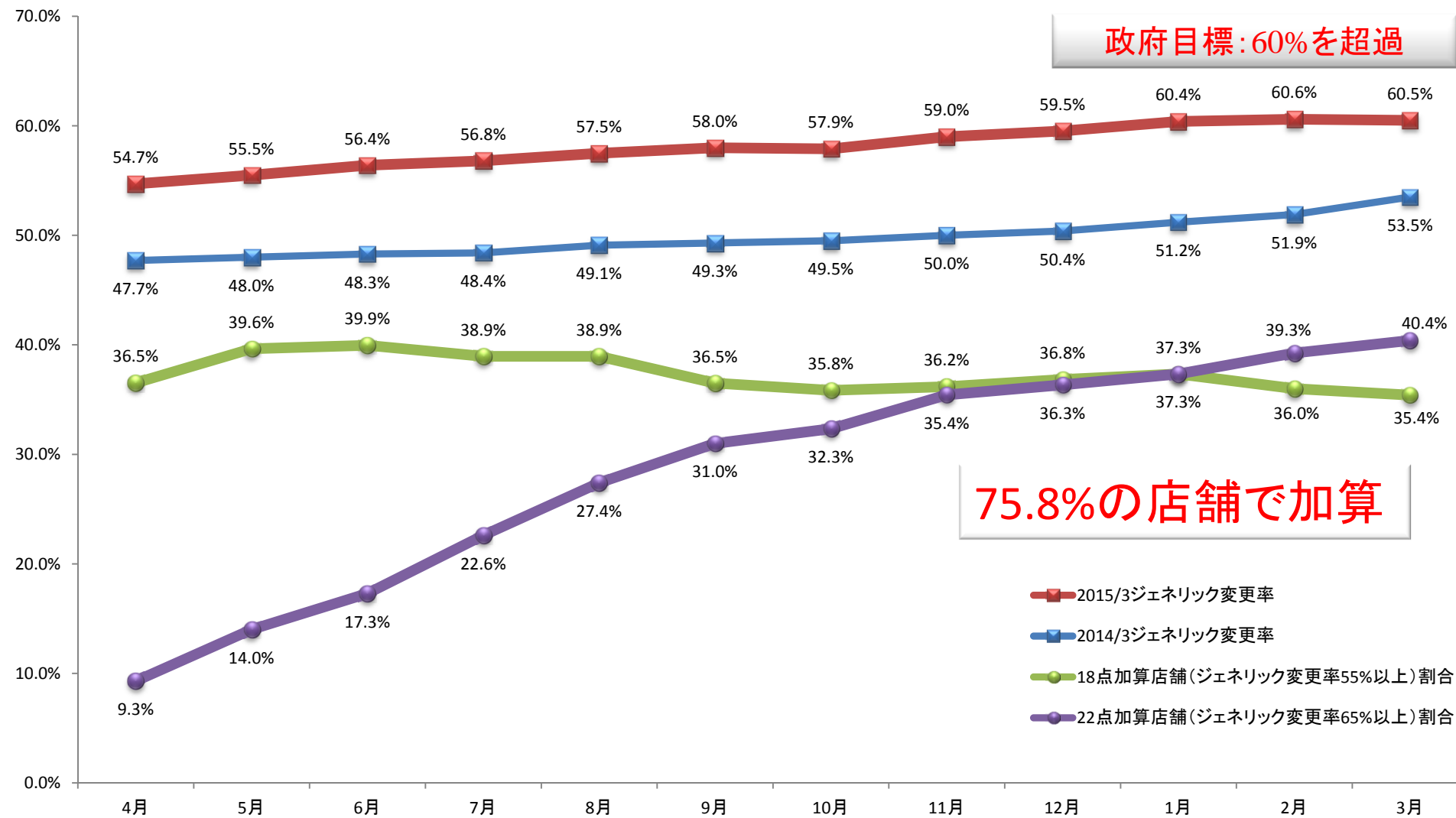
長期借入金の返済による支出:6,080百万円

自己株式取得による支出:1,413百万円

配当金の支払額:597百万円

■ FCF:2,775百万円

ジェネリック医薬品変更率および加算店舗状況



■ 2015/3期 決算概要

■ 2016/3期 業績予想

■ クオールの成長戦略

■ 総括

2016/3期見通し・・・最高益更新へ



(単位:百万円)	2013/3	2014/3	2015/3	2016/3(予)	増減率	増減
売上高	76,783	100,966	114,363	125,800	10.0%	11,437
営業利益	2,812	2,105	4,243	5,010	18.1%	767
利益率(%)	3.7	2.1	3.7	4.0	-	0.3
経常利益	2,829	2,208	4,262	5,000	17.3%	738
親会社株主に帰属 する当期純利益	1,349	777	2,155	2,500	16.0%	345
EPS(円)	52.76	25.11	63.33	73.45	16.0%	10.12
BPS(円)	511.39	521.60	557.42	-	-	-
配当金(円)	20.00	18.00	20.00	20.00	-	0
配当性向(%)	37.9	71.7	31.6	27.2	-	-4.4
時価総額	23,665	21,712	36,275	-	-	-
出店数	438	520	538	593	10.2%	55
(LAWSON)	(30)	(37)	(37)	(40)	8.1%	3

- 出店戦略:積極的なM&A/収益重視の出店
- LAWSON:スクラップ&ビルド 40店舗体制(ヘルスケアCVSに注力)
- 利益:入札制度による安定した収益、積極的なGE医薬品への変更
- 設備投資:1,627百万円、減価償却費:1,699百万円、のれん償却費:1,760百万円
- アポプラスステーション:引続き市場が拡大傾向(2ケタ成長)、海外進出、2017年:CMR1,000名体制へ

■ 2015/3期 決算概要

■ 2016/3期 業績予想

■ クオールの成長戦略

■ 総括

I クオール薬局

II 新業態事業

LAWSON・ビックカメラ・JR西日本G

III クオールSDホールディングス

I クオール薬局



- 既存店・・・新患率 約8% 売上高2ケタ成長
- 認定薬剤師制度・・・処方提案レベル:がん・認知症・在宅・糖尿病
- 機能・・・過誤防止・全自動調剤・スピーチプライバシーシステム・エコ・災害対策・在宅・テレビ電話など



- IT・・・クオールカード・処方せん送信アプリ・クオールアプリ



- 異業種とのコラボ



新店紹介・・・2015年4月1日オープン



クオール薬局
四国中央店

四国における
旗艦薬局

- 病院との連携強化
- 処方箋に臨床検査値 → クオール薬局で服薬指導を強化
- 抗がん剤服用中の患者 → クオール薬局・副作用発生状況を確認 → 病院へフィードバック



II 新業態・・・認知度向上により、処方箋は堅調な伸び



処方せん送信アプリの利用者拡大・・・20%の方が利用する店舗も！

LAWSON

37店舗

街ナカ市場

ヘルスケアCVS

スクラップ&ビルド

処方箋は2ケタ増

ビックカメラ

4店舗

駅チカ市場

調剤報酬2ケタ増

1日数万人の集客力

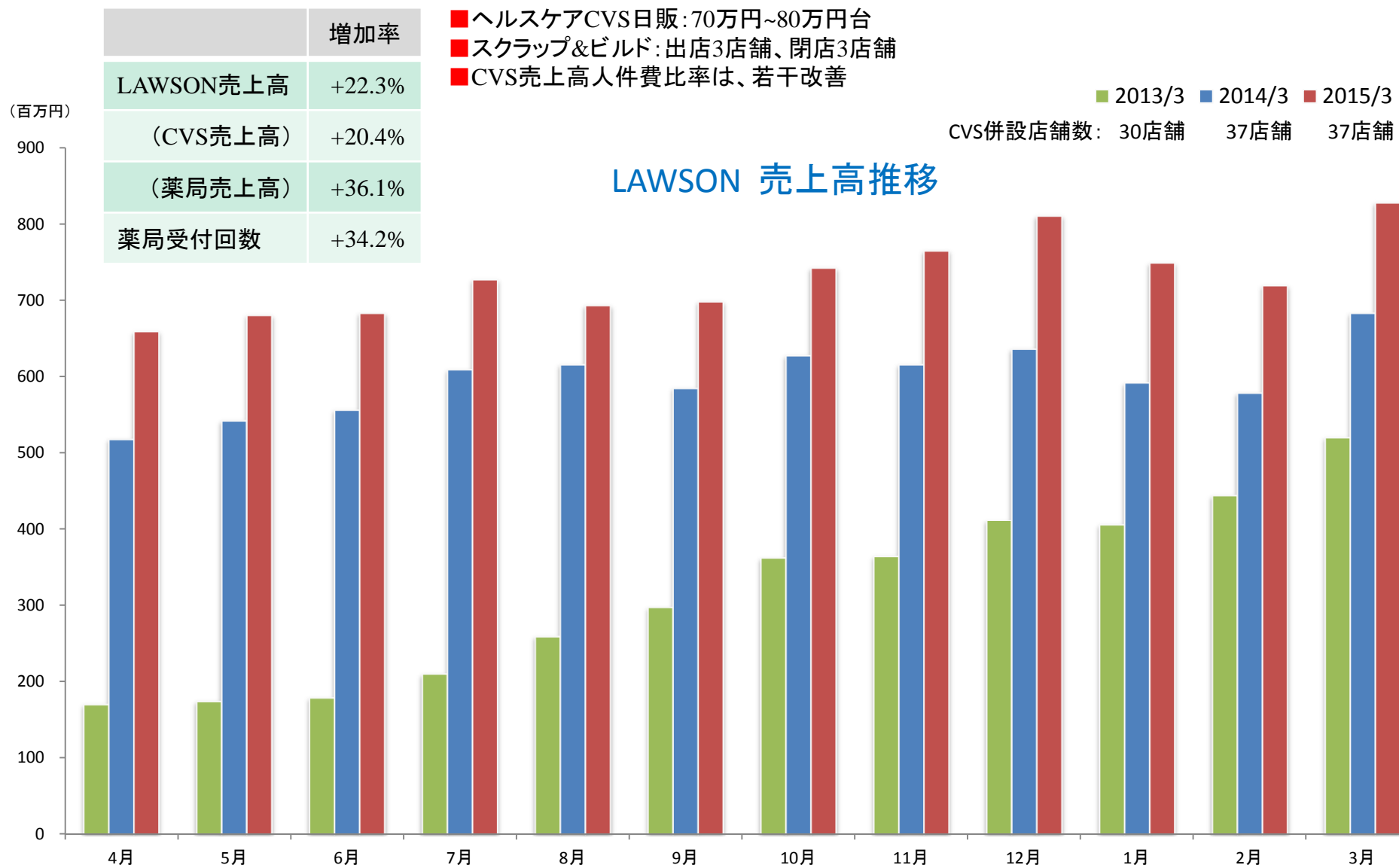
JR西日本G

3店舗

駅ナカ市場

調剤報酬2ケタ増

OTC好調

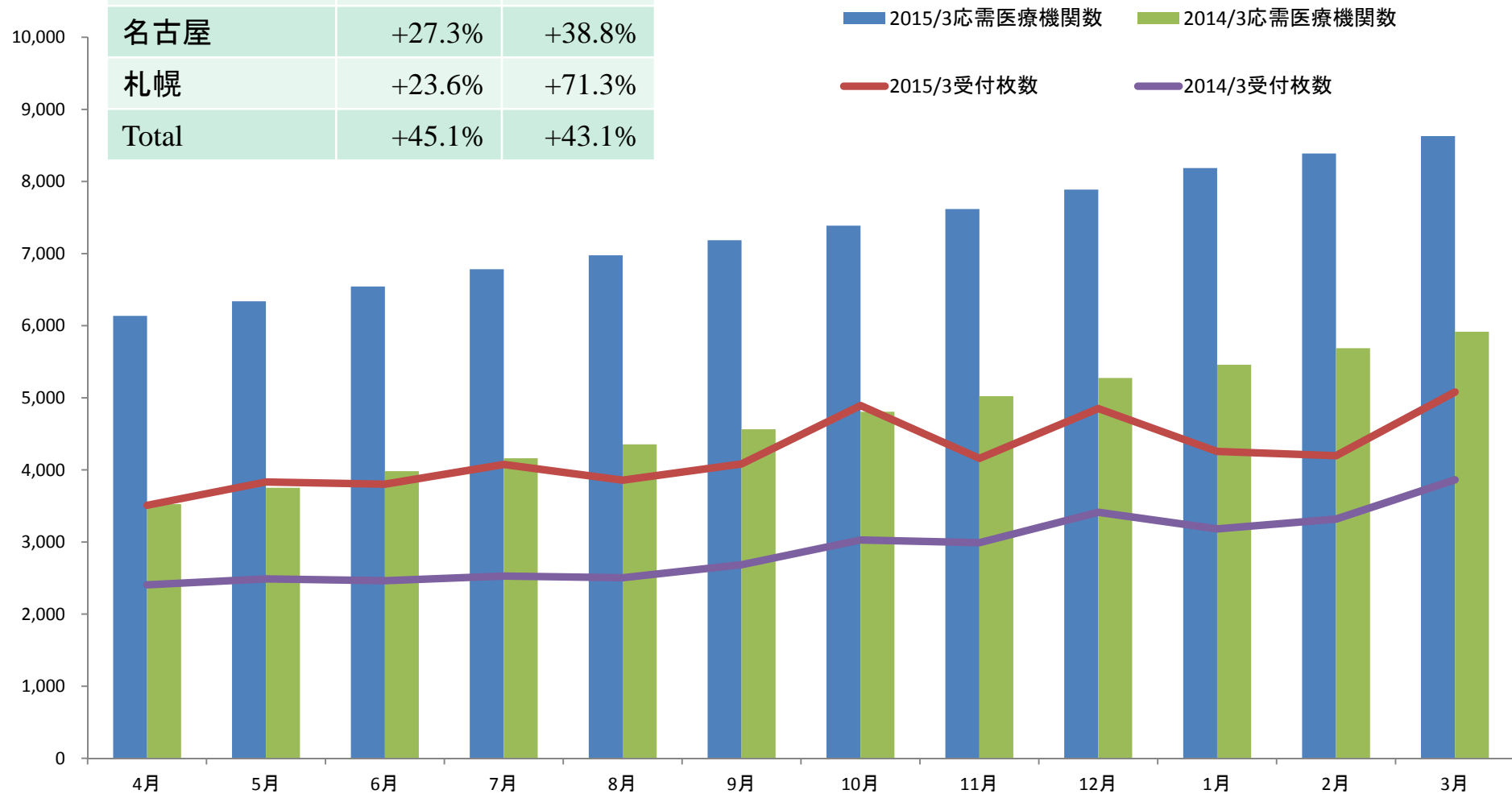


ビックカメラ

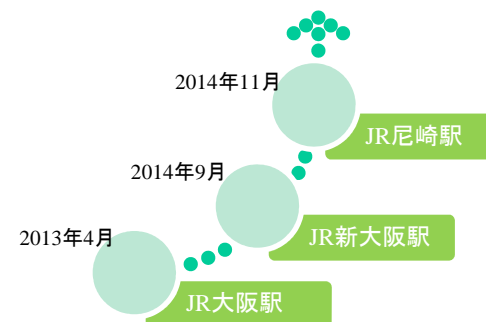


(増加率)	受付枚数	調剤報酬
有楽町	+22.3%	+21.1%
ビックロ(新宿)	+43.3%	+70.9%
名古屋	+27.3%	+38.8%
札幌	+23.6%	+71.3%
Total	+45.1%	+43.1%

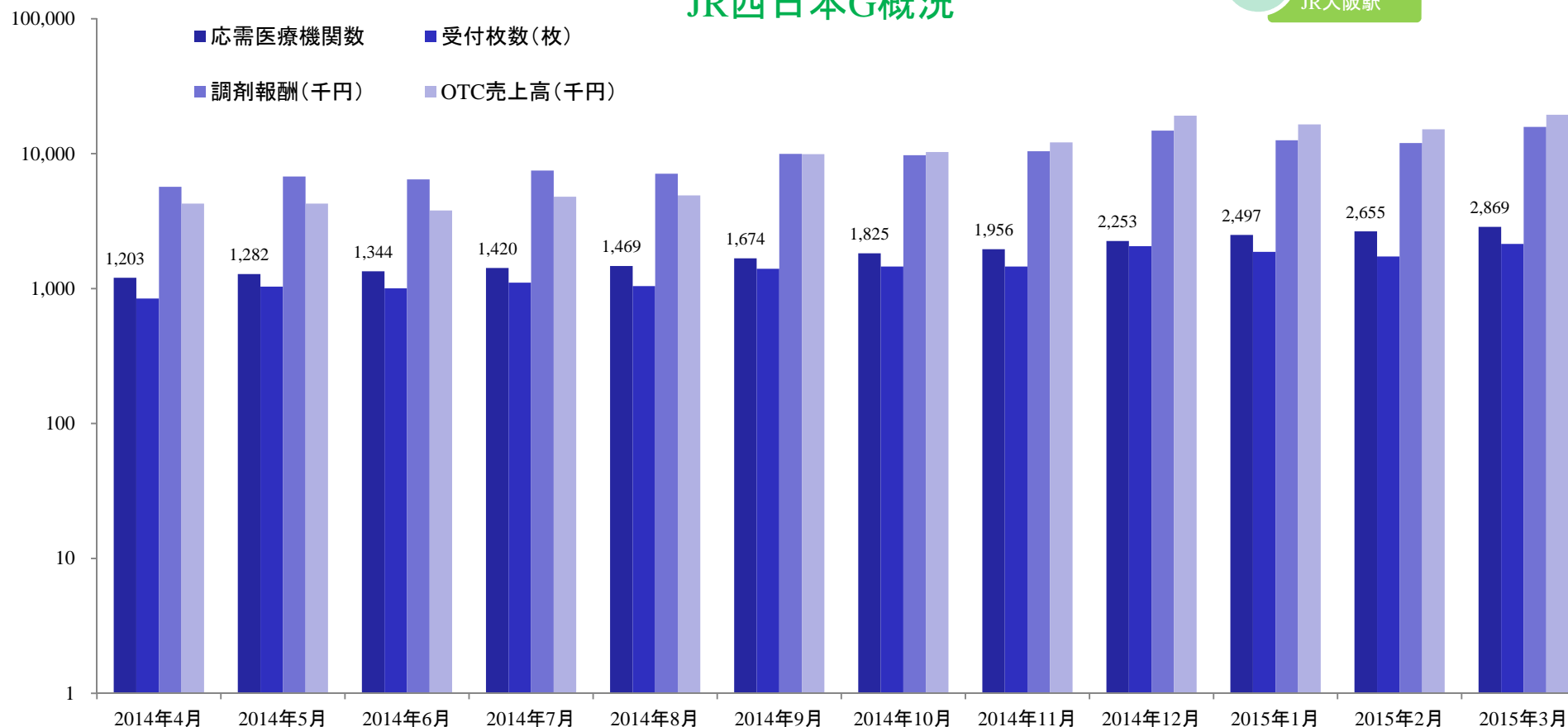
■ビックロは、人通りの多い地下に移転したことで、
受付枚数・調剤報酬は大幅に増加
■名古屋は、OTC売上高が40.6%増



- 認知度向上により、広範囲から処方箋を応需
- 花粉症は、OTCを服薬する消費者が増加傾向
- 大阪店の増加率 調剤報酬:83.7%増、受付枚数:87.6%増、OTC:21.6%増

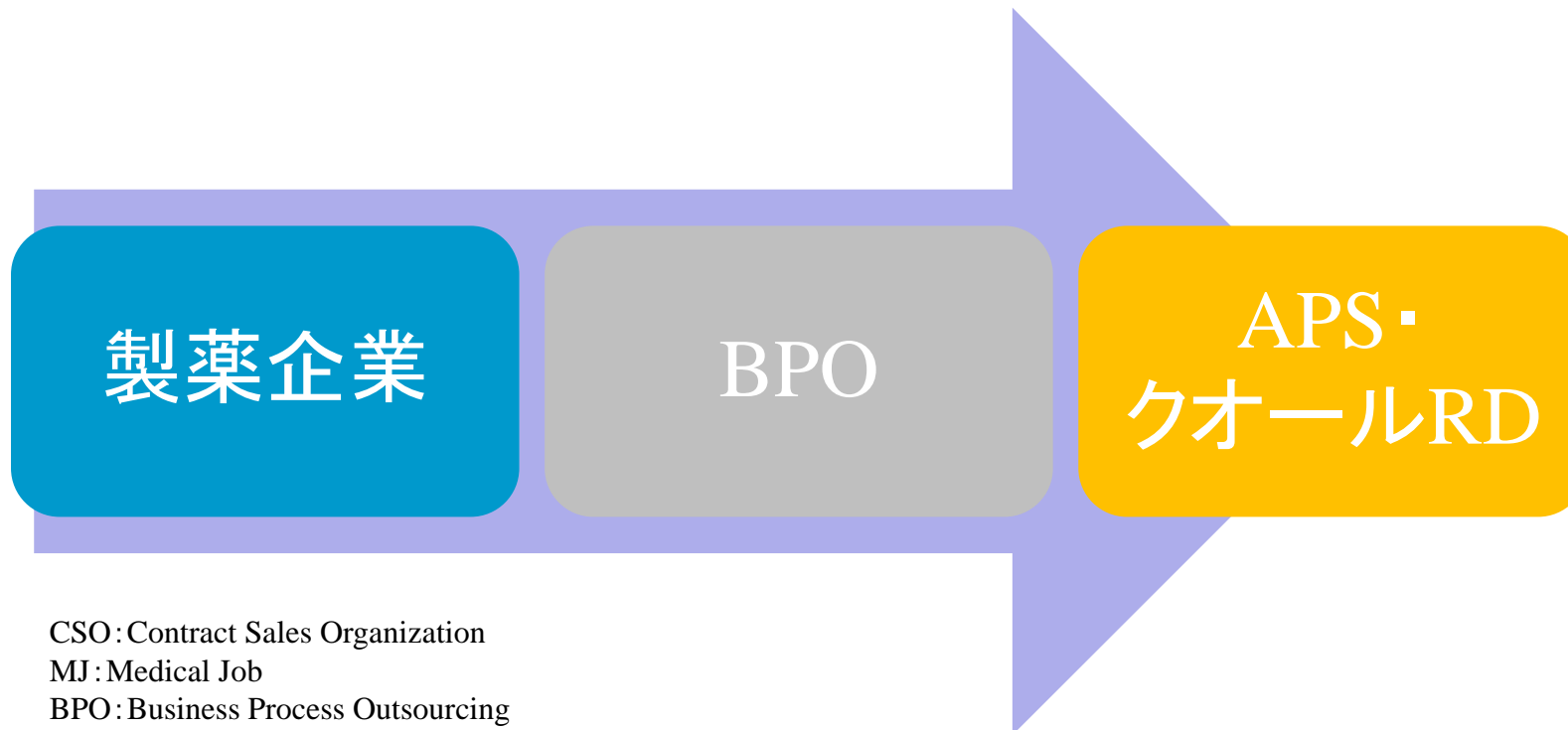


JR西日本G概況



■ 新たな収益源の確保・・・アポプラスステーション、クオールRD

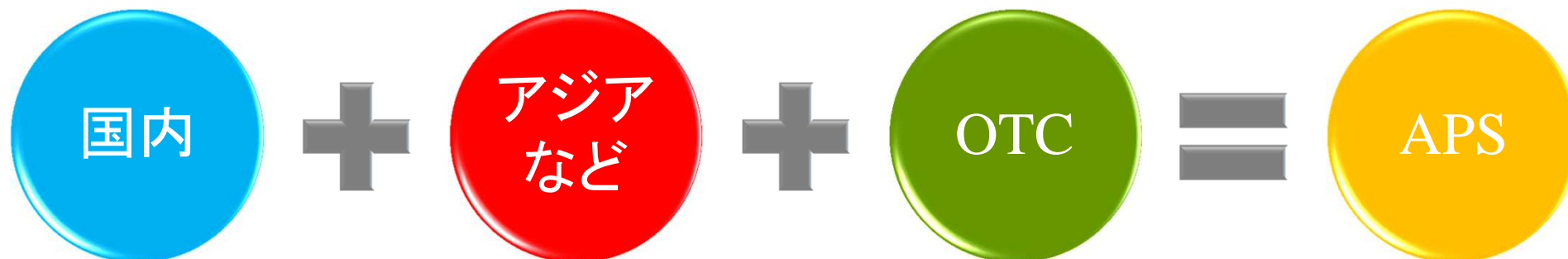
- アポプラスステーション(APS):
MR派遣(CSO事業) + 薬剤師・看護師派遣(MJ事業)
- クオールRD: CRO(治験事業)



グローバル
営業統括部創設

国内中小メーカーの海外進出サポート

外資系新規参入メーカーの営業機能受託



■ 2015/3期 決算概要

■ 2016/3期 業績予想

■ クオールの成長戦略

■ 総括

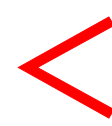
- 増収増益
調剤事業＋アポプラスステーションの相乗効果
2016年4月以降の3年連続薬価改定を乗り越える
- 最高益更新
入札制度による、安定した収益環境を実現
アポプラスステーションの事業拡大
ジェネリックへの積極的な変更
- ROE向上・・・5.2% → **11.9%** (PBR:1.3倍 → 1.8倍)
積極的な株主還元 18円 → 20円(配当性向 31.6%)
自社株買い
- 電子薬歴・・・全店舗導入済み
- クオール独自の薬局開発部隊・・・収益力のある店舗開発
- クオールカード(120万人超)＋処方せん送信アプリ(全店舗導入)
- 茨城県構想・・・賛同薬局が増加

調剤

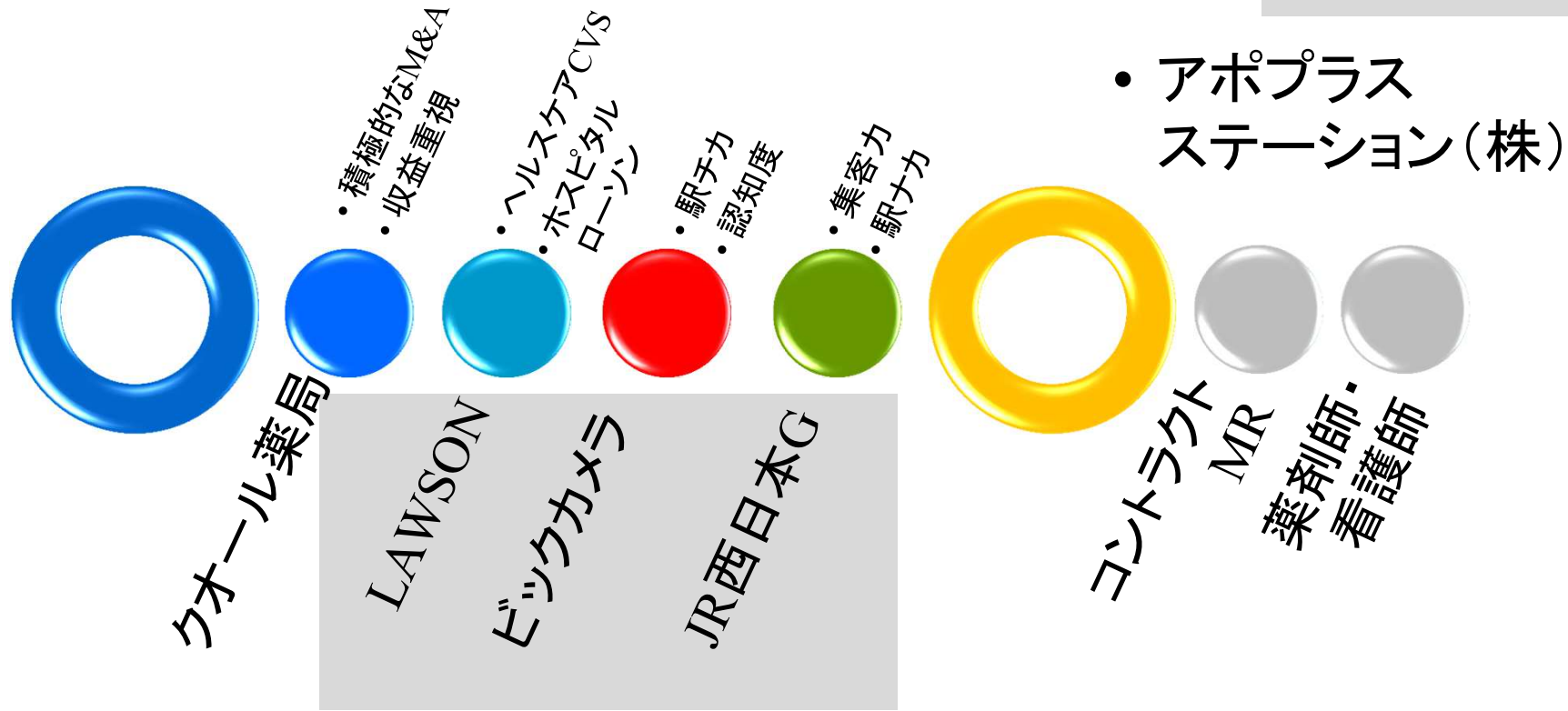


売上

利益

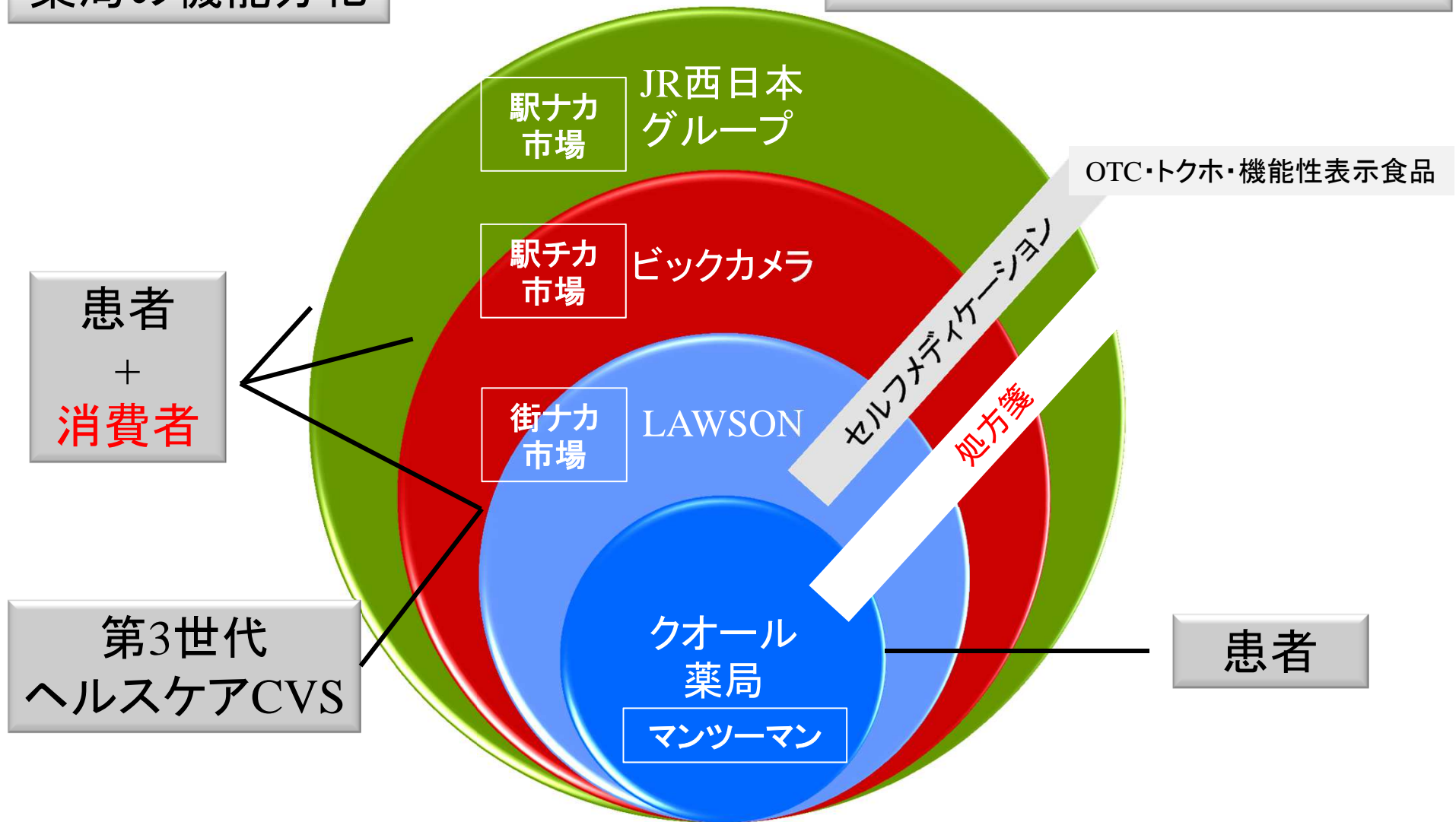


派遣



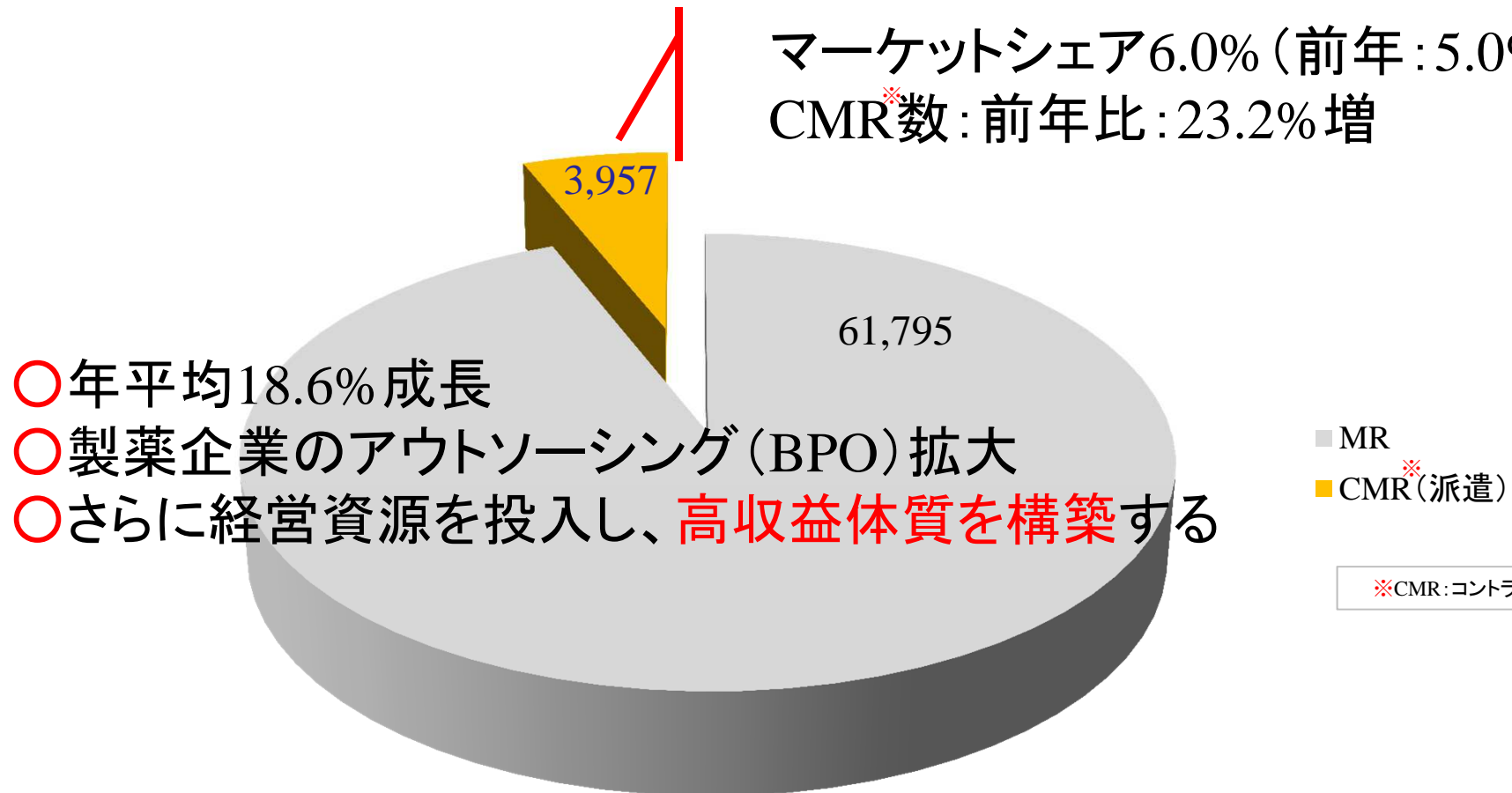
薬局の機能分化

消費者により身近な薬局へ



2013年 国内MR数 65,752名

マーケットシェア6.0% (前年:5.0%)
CMR[※]数:前年比:23.2%増



出所:MR認定センター MR白書より

MRのコストは、固定費から変動費へ

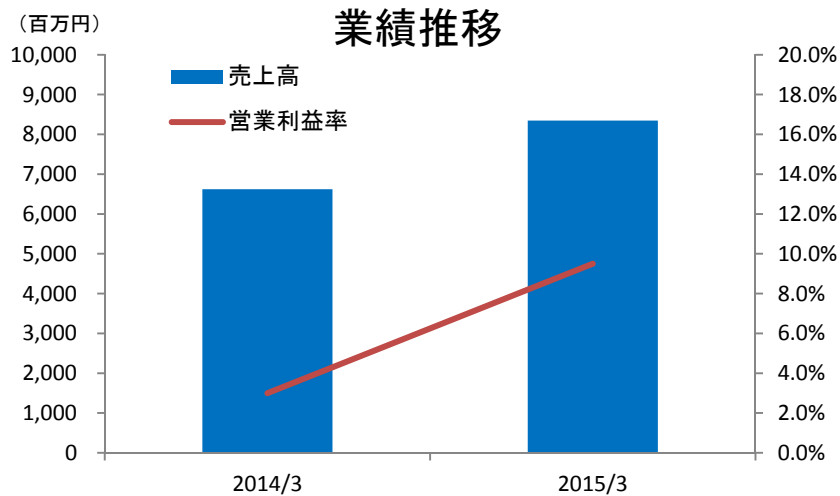
アプラスステーション(APS)



※BPO: Business Process Outsourcing



2016/3期も増収増益へ



規制緩和

